

No.⑤	分類	3-(1)-イ	資料名	どうしてだろう	学年	1・2年 共通	関連領域例	特別活動 (学級活動)
------	----	---------	-----	---------	----	------------	-------	----------------

### 1 ねらい

- 人を性差のみによって判断することの誤りに気付き、自他の良さを認め合うことで、自尊感情を高めたり、他者理解を深めたりすることができる。

### 2 趣旨

- 低学年においては、性別にとらわれず抵抗なく活動している場面も多いが、この時期から次第に遊びや生活の中で性別による役割を固定化した考え方（イメージ）が現れてくる。これは、周りの大人たちの意識の影響も大きい。ここでは、男女共同参画社会を担う一員としての考え方や資質を養う。
- 日頃の生活の中で、性別による役割や必要のない区別を強いられた経験を思い出させながら、性差だけで決め付けることの不当性を見抜ける力を養う。

### 3 配慮事項

- 教職員自身が、いつのまにか「女らしさ・男らしさ」を児童に求めていたり、学級の役割を決めるときに性別役割分担意識にとらわれたりしていないか、まず振り返ることが大切である。※1
- 家庭での保護者の指導を否定することのないように配慮したい。
- 「LGBT」※2等の児童やその家族がいる場合等を配慮し、状況や保護者の願い等を十分に把握し、連携を保ちながら指導することが必要である。
- お互いの良いところ見つけの活動を盛り込むことで、友だちと関わる楽しさと認められる喜びを味わわせたい。

### 4 展開例

学習内容	指導上の留意点
<p>1 資料を読んで、自分が性別で決めつけられた経験を話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">今まで、「女の子は…」や「男の子は…」と、言われたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「女の子なんだから、食器運びを手伝って。」と言われたよ。</li> <li>・「男の子なのに、泣いたらだめ。」と言われたよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の生活を想起させ、意識を高める。</li> <li>・ 身近な生活体験から、意見を発表させる。</li> <li>・ 自分たちの中に「女（男）の子は」という刷り込みがされている場合も多いことに気付かせる。</li> </ul>
<p>2 言われたときの気持ちについて話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">そのとき、どんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女の子だけが食事の後片付けをするのは、おかしいと思うな。</li> <li>・ ぼくだって泣きたいときもあるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性別により不必要な区別をされることのおかしさに気付かせる。</li> <li>・ 「女・男らしく」という性差のみによる捉え方でなく、「自分らしさ」を大切にしようとする生き方や、友だちの個性を大切にしようとする意欲に結び付ける。</li> </ul>
<p>3 一人ひとりの良いところを見つけ合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">みんなの良いところ見つけてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「女の子」「男の子」にこだわらず、お互いの良さを考えることで、一人ひとりの人間として大事にするということを考える機会とする。</li> </ul>

## 5 参考

- ・ 小学校低学年用教育資料『ほほえみ』（H13年版）のNo.16「自分らしく」につなげていくこともできる。
- ・ ※1「隠れたカリキュラム」  
児童生徒の人権感覚の育成には、体系的に整備された正規の教育課程と並び、いわゆる「隠れたカリキュラム」が重要であるとの指摘がある。「隠れたカリキュラム」とは、教育する側が意図する、しないに関わらず、学校生活を営む中で、児童生徒が自ら学びとっていく全ての事柄を指すものであり、学校・学級の「隠れたカリキュラム」を構成するのは、それらの場の在り方であり、雰囲気といったものである。  
(参考：人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕)
- ・ ※2「LGBT」と「SOGI」  
LGBTとは、レズビアン（L）・ゲイ（G）・バイセクシュアル（B）・トランスジェンダー（T）というアイデンティティ（自分は何者であるかという意識）を指す言葉の頭文字をとったもの。多様な性の総称の一つとして使われることもある。  
多様な性の総称には、「LGBT」のほかに、「LGBTQ」「LGBT+」等の言い方が使われることもある。  
これに対し、SOGI（ソジあるいはソギ）は性を構成する要素の「性的指向」と「性自認」のことである。すなわち、全ての人の性に関わることである。  
(参考：「人権文化あふれる温かい共生社会をめざして～多様な性への理解を深めるための職員ガイドライン～」(兵庫県) 令和3（2021）年3月)